

検討項目 「昼休み時間の運行」について

次期運行契約締結に向けた運行ダイヤは、次の二つが考えられる。

1 1日8便（昼休み時間運行なし、従来どおり）

1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便
8:30	9:30	10:30	11:30	13:30	14:30	15:30	16:30

2 1日9便（昼休み時間運行あり）

1便	2便	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便
8:30	9:30	10:30	11:30	12:30	13:30	14:30	15:30	16:30

表 1 運行内容の比較

	1 1日8便 (昼休み時間運行なし)	2 1日9便 (昼休み時間運行あり)
特徴	・昼休み時間の12:30から1時間は運行しない。	・8:30から17:30まで連続運行する。(昼休みは交代)
メリット	・運転手が2人体制で、一斉に昼休みを取得できる。 ・また、昼休み時間の運行と比較して、コストが安い。	・11:30以降の病院等の帰り、また、13時からの病院、講座、行事などのニーズに対応できる。
デメリット	・12:30以降の病院等の帰り、また、13時からの病院、講座、行事等のニーズに対応できない。	・2人の基本の運転手とするが、これまで昼休みとしていた時間の運転手を別に確保しなければならず、コストが増加する。

◎ 選択のポイント

平成28年度に実施した利用者アンケートにおける「運行ダイヤ（便の時間・昼休み）」についてのサービス満足度では、「不満である」と「大変不満である」を合わせた割合が、平成26年度の45%から平成28年度は28%に下がったものの、質問事項の中で3番目に不満が高くなった。

また、登録者アンケートの「のりあい交通を利用しない理由」で「利用したい時間に運行していない」と回答した人のうち、60歳以上で今

後の利用意向があり、1 2 時台に日常移動している方を潜在需要と考えて、需要を試算すると、1 便あたり 6.5 人／便となった。

つまり、現状の利用の多い便と同程度の利用が期待される。

【方向性】

昼休みとなっている時間帯においても、休まず運行することにより、8：30 から 17：30 までの間の連続して運行させることにより、現在、運行されていない時間帯における需要に応えられると考えられる。

このことから、昼休み時間運行ありの 1 日 9 便としたい。